

【22_158技術系メルマガ】『順張り』『逆張り』は立場によって変わる

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

昨日、『ルーティン化』をテーマにしたメルマガを送りましたが

タイトルが間違っ、今日送る予定だったメルマガのタイトルになっていました。

正しくは、昨日のメルマガは

【22_157思考系メルマガ】トレードを楽にしてくれる『ルーティン化』のすすめ

となります。ゴメンナサイ(汗)

さて、今日の内容に移ります。

昨日は、朝にもチャンスがあったなあと思いつつも、車運転中だったのでスルー。

ロンドン時間初動に良いチャンスがあったのでトレードしました。

▼GBPUSD(L) 結果:+25pips▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1533698910619078656?s=20&t=myvA8tHTHtrA-1cd70DskQ>

日足は 20SMAが邪魔でこの時点ではショートしにくい環境。

更にH4足は既に安値圏に到達、100SMAも邪魔。下落の一服感を示唆するコマ足も出現

⇒下位足で見れば揉み合い伴うMA収縮

⇒20SMA乖離空間に向けてロングの目線でOK

M15足の収縮+3波目狙いのセットアップでエントリーでした。

～～

今回のテーマは、テクニカル分析の中でも特に「トレンド」を使ってトレードする人たちの間では1回は話題になるであろう

『順張り』『逆張り』の概念についてです。

- ・自分のやっているトレードが『順張り』なのか『逆張り』なのかわからない
- ・『逆張り』って悪いこと(難しい)なのか？

そんな疑問を一気に整理してみたいと思います。

□
■ そもそも、【絶対的な順張り / 逆張り】は存在しない

実は今回のメルマガの最大の要点は、この1行のサブタイトルに集約されてしまうのですがもう少し深掘りしますね。

ということなのかを視覚的にイメージしてもらうために、1枚チャートを用意しました。

▼どこを見て『順張り』『逆張り』と解釈するか▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/chart/2022-06-06.png

これを見ると、H1足まではトレンド方向に従った『順張り』と言えますが

H4足で見れば、MAIに対する乖離空間を狙った『逆張り』という事になりますよね。

つまり、自分のトレードが『順張り』なのか、『逆張り』なのかは

自分が【(狙う1波となる)軸の時間足】をどれにするかによって変わるということです。

例えば、セミスイング(保有時間数日程度)を軸とする人ならば

H4足のひと波を取りに行くイメージになるでしょうから、この時間足における逆張りは割に合わない(伸びない)可能性が高いといえるでしょう。

一方、僕のように短期デイトレで攻める人ならば、H1～M15足のひと波を取るだけなので

H4足のMAの乖離空間が十分なリワード幅として確保できるなら、H4足の逆張りであろうが構わずエントリーすれば良いわけです。

結局のところ、『順張り』が絶対的にたたく、『逆張り』はダメという二元論的な論争は意味がなくどちらのやり方であろうと確率的に【自分がエントリーした方向で利益になる可能性が高い】方向へ

一貫したリスクを張り続ける事が本質的に重要なのです。

また、自分のトレードの特徴(主にデイトレか、セミ/スイングか)に合わせて

【どの時間足のトレンドに沿わせるのが妥当なのか】を考え、決めること。

僕らの周りを取り巻く発信には「トレードは順張りが絶対！逆張りは悪！」と

変に物事を単純化して、分かった気にさせる内容が多く目につきます。

複雑な事象をなるべくシンプルに捉えるという考え方は、トレードにおいても非常に重要なのは間違いないですが

本質を外れて、本来考えるべき『大事なことを』端折った話に対しては、注意深くその情報を吟味するように気を付けましょう。